

職場諸要求を上申！

10月26日、私たち大阪修繕車両所分会は、「2012年度職場諸要求」をJR東海労新幹線関西地本へ上申しました。

私たち分会として上申した内容は、①労働時間に関して1項目 ②休日等に関して5項目 ③通勤に関して5項目 ④事務所棟に関して7項目 ⑤構内操縦に関して8項目 ⑥諸手当に関して5項目 ⑦その他、設備、職場環境に関して17項目、合わせて48項目の改善要求を上申しました。

会社は、経営協議会の場で更なる効率化を宣言！

会社は、平成24年度第1四半期連結決算で、純利益が過去最高となる、前年同期比65.9%増の614億円を計上しました。さらに、夏季期間の利用状況も対前年比で新幹線では105%と好調に推移しました。これは、現場社員が額に汗し、安全・安定輸送に向け努力したからこそ、ここまで利益を確保することができたのです。

しかし会社は、こうした社員の努力に応えようともせず、更なる低コスト化の徹底や効率的な業務遂行をまだまだ推し進めようとしています。

10月11日、本部、本社間の経営協議会の場で会社は、「効率的な業務体制の構築について」と題して、「**現業部門、非現業部門を問わず現行の業務運営体制における効率化の余地について会社を挙げて検証を行い、更なる効率的かつ筋肉質な業務運営体制の構築を推進する**」と効率化をドンドン行って行くことを宣言しました。

このままでは、安全が損なわれたり、社員の健康が損なわれたり、労働条件改善どころか改悪すらあり得る状況です。

皆さん！リニア中央新幹線の建設・運営のために、現場で働く社員が犠牲にならないように、みんなで声を出し合い、明るく働きやすい職場を創ろうではありませんか。